

**中野区教育振興会教育事業
資金として西武信用金庫様
からご寄附いただきました。**



左 安藤文隆会長 右 高橋一朗理事長

西武信用金庫様から高等学校等に在籍する生徒に対する奨学金の給付事業に対し「地域の未来を担う人材が輝き、羽ばたくための支援を積極的に取り組んでいかれる」ということから事業の趣旨に賛同されご寄附いただきました。贈呈式は、7月23日午前11時より西武信用金庫8階会議室にて行われ、高橋一朗理事長より当会会長安藤文隆に対して目録が送られ、贈呈式には教育振興会会長他理事が出席いたしました。

教育振興会としましてはこの事業が今後継続して実施出来ることとなりますので大変感謝しております。

**中野区の中学校の現状並び
に新たな取り組みについて
中野中学校の竹之内勝校長
にお話をお伺い致しました。**

1 中野区の不登校の現状とN組の活動についてお聞かせください。

令和5年度の不登校出現率は、国6・71%、東京都7・80%。中野区は6・79%となっています。中野区は東京都平均より少ないですが、国の平均より少し高いという現状です。

中野区では学校へ行きづらい子どもたちが向けて、中野区在住の中学生が中野中学校に転校しN組で学習するという仕組みを用意しています。現在1年生11名、2年生8名、3年生4名が在籍しています。英語、国語、数学、理科、社会においては学年別で、音楽、美術、保健体育、技術、家庭は、N組全員で授業を行っています。

N組の生徒は不登校になった時期もさまざまのため、一人ひとりの学力差が大きく、支援員や複数の教員が入ってきめ細かな対応を行っています。

学校へ行きづらい子どもたちには、

体験学習が重要であると考えているので、教室外での体験学習も増やしています。宿泊を伴わないものはN組全員で、井の頭公園でのオリエンテーリングや写生会、科学技術館や国際展示場での探究活動です。宿泊を伴う修学旅行は3年生が実施し、1・2年生においては軽井沢少年自然の家を拠点に、イングリッシュキャンプとスキー教室を隔年で実施します。

運動会等の学校行事における係活動等や部活動など、N組以外の生徒との交流を含めて、生徒一人ひとりの思いに寄り添い、個別最適な教育活動に取り組んでいます。

2 子どもの意見が反映する学校での取り組みについて

子どもの権利条例制定をきっかけに子どもの意見を学校運営の中でもより反映させていこうという取り組みが進んでいます。

例えば、運動会でもどのような種目がよいかを子どもたちに決めてもらっています。また、委員会活動でもこれまで各クラスから男女1名ずつを選んでいましたが、委員会の内容によっては人数や男女比にこだわ

らず考えていこうという動きがありました。服装についても、標準服はあるものの、夏の暑さに対応して、体育着で登校してもよいなど、生徒の意見が反映されました。

中野区教育委員会でも昨年度から、子どもたちが使い方を自由に決められる30万円の予算を各中学校にくだ



竹之内校長

さいました。それにより、中野中学校でも子どもたちに人気のスポーツであるバスケットボールの日本代表選手を招いて、講演会や交流会を実施したところです。今年度は「本物のユースチューバーと会いたい」という子どもたちの希望があります。これまでは学校に子どもが合わせるということが多くありましたが、これ